

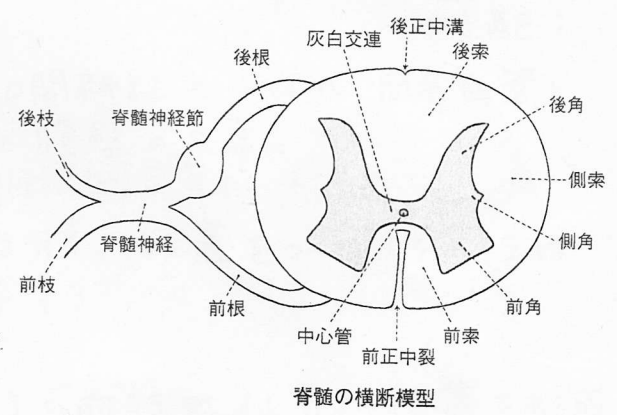
### ② 脊髄

大き約 1~1.3cm 長さ 41~46cm の白色の索状体  
 上下2ヵ所に (頸膨大) と (腰膨大) とよばれるふくらみ。  
 ↓ ↓  
 上肢に分布 下肢に分布する神経の出入りするところ

#### 横断面

中心に中心管があり、H状に灰白質が  
 ヒリかこみ、その表層を白質がおおう。

灰白質には前角と後角がある。



前根 → 前角の (運動) 神経細胞  
 から出る神経線維が自律神経  
 線維とともに束ねられている。  
 後根 → 後角に入る (知覚) 神経線維が形成。

前後と後根とはあわせて1本の脊髄神経となり身体各部に分布。

### ③ 脊髄神経 spinal nerves

脊髄神経は全部で (31) 対ある。  
 (頸神経 8 胸神経 12 腰神経 5 仙骨神経 5 尾骨神経 1)

それぞれ対応する椎間孔を通過して、脊柱管をでる。  
 前根の線維は (運動) に > 関係する。  
 後根の線維は (知覚) に > 関係する。

脊髄神経の分布は規則的で、特に皮膚の知覚神経分布は  
 分節が明らかで、帯状支配領域を (皮膚節) という。

第1頸神経 → 後頭骨と第1頸椎のあいだからでる。  
 8 → 第7頸椎と第1胸椎のあいだからでる。  
 (以下の神経は同名同番号の脊椎の下からでる。)